

令和6年度 アーツ前橋「地域プロジェクト」企画内容

本企画は令和5年度から3ヵ年計画で取り組んでいる建築家・元木大輔（DDAA）と演劇作家・藤田貴大による地域リサーチプロジェクトの第2期である。下記2つのプロジェクトは街なかを舞台に地域住民や他の文化施設と連携し、活動を通して「まちづくり人材の育成」や「空き物件の創造的活用」、「前橋のブランドイメージ向上」につなげていく。

劇団「マームとジプシー」藤田貴大による

広瀬川モチーフの演劇作品《瞬く臉のあいだに漂う》滞在制作



劇団「マームとジプシー」を主宰する藤田氏の地域プロジェクトでは、再開発が進む広瀬川河畔の今昔をモチーフに、当該エリアで街づくりを行う建築家等の地域リーダーと連携しながら、オリジナル戯曲・舞台衣装・映像詩を現地制作する。これら第二期の成果は、最終年度となる2025年の秋季企画展で、萩原朔太郎記念前橋文学館を会場に発表する。「美術」のアーツ前橋と「詩と文学」の前橋文学館を演劇プロジェクトによって接続し、新たな文化観光動線を創出するプロジェクトである。

▶滞在制作：2024年11月7日～17日

▶第2期活動報告会：2025年2月頃実施予定（映像、戯曲朗読、トークショー等）

MUJI 無印良品+元木大輔（DDAA）と連携する

アーケード商店街活性化のためのモジュール「うすい店」開発プロジェクト



中央通り商店街に試験的店舗を構える「MUJI（良品計画）」と連携し、建築家・元木大輔氏を招聘して継続中のアトリサーチ・プロジェクト。「ニューホライズン 歴史から未来へ」展（2023）のスクールプログラムとして実施したワークショップ「MUJI for Public Space × 元木大輔」の成果をもとに、シャッターが降りたままの店舗前スペースを創造的に活用する狭小店舗モジュール「うすい店」の試作・試験設置・ドキュメント展示を行う。最終年度となる2025年の秋季企画展では、再開発工事の仮囲いにモジュールを仮設し、デザイン路上映画鑑賞会や夜間限定アートカフェをひらくなど、今後の街づくりにつながるコミュニティ醸成イベントを展開する。

▶モジュール仮設置（社会実験）：2024年11月19日～24日

▶活動記録展示：2025年1月～3月 アーツ前橋ギャラリー1